

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	いわき市	代表者名	内田弘之
担当者部署	市民協働部	連絡先電話番号	0246-46-0400
担当者役職	主幹	担当者氏名	松崎 伸一
住所	9708026 福島県いわき市平字梅本21		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	多田 功
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	スマートシティという概念がぼんやりとしているため、地域住民の理解が図られていなかったが、講師が加古川市で取り組んできた事例を中心に、スマートサービスはあくまでデジタルを活用した手段（万能ではない。お金があればできること）であり、課題の正確な把握と具体的な理想像を持つことが大切ということを強調していたことにより、参加者の漠然として「スマートシティ像」がアップデートしたように感じている。
アドバイザーへの要望事項	特になし。（引き続きお願いしたい。）

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和6年1月13日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			13時30分	15時30分	
				活動時間（分）	120
3-2. 派遣場所	会場名	中央台公民館	最寄駅	JRいわき駅	
	所在地	福島県いわき市中央台飯野4丁目5-1	最寄駅からの交通手段	タクシー	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	地域住民、一般（学生を含む）、市職員	32人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	市が検討しているスマートタウンモデル事業は、拠点エリアを含む中央台地区全域を対象として、さまざまな課題解決を目指しているものの、地区住民の関心や機運が高まっていない。その要因の一つとして、スマートサービスなどの知識が不足していることが考えられることから、学びの機会を創出する必要がある。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	スマートサービスに関する知識を習得し、市が行う事業を自分ごととして捉え、できる限り地域の意見を反映させ、住民が主体となったタウンマネジメント・地域づくりを進める。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・講師が加古川市で取り組んできた事例（地域の課題解決や住民の利便性向上を目指して、デジタルを活用した結果、スマートシティの先進地と言われるようになった。） ・スマートサービスはあくまで手段（万能ではない。お金があればできること）。課題の正確な把握と具体的な理想像を持つことが大切。 ・自分や家族のウェルビーイングと同じように、地域のウェルビーイングを捉えること（地域づくりへの参画）。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートシティとは決して先進的で華やかなものではなく、地域をしっかりと見つめ、みんなで考え、少しずつ良い方向に向かうための手段であり、地域住民にとって決して難しいテーマではないことを認識できた。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>オンラインによる参加者と、会場へ来場しての併用による事業となったことから、アンケート等は行っていないが、参加者数名からは、加古川市の事例が生活に密着したもので、スマートサービスが身近に感じられたという意見を頂いた。</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	市が検討しているスマートタウンモデル事業への地域の声の反映と地域住民の将来のエリアマネジメントや地域づくりへの積極的な参画。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

